

PATENT ABSTRACT OF JAPAN

(11) Publication number: 2527010 Y2
(43) Date of publication of application: 26.02.1997
(51) Int. Cl: A47H 15/02; E06B 9/36
(21) Application number: H2-92432
(22) Date of filing: 04.09.1990
(71) Applicant: K.K. YOKOTA
(72) Inventor: Hashimoto, Tadakatsu
(54) CURTAIN RUNNER
(57) Claims

1. A curtain runner comprising a runner body movably guided in a curtain rail and removably equipped with a hanging rod for hanging a curtain, said runner body is formed with first and second body sections having the upper portions thereof secured to each other and the lower portions thereof resiliently opposite to each other, said both body sections being formed with the respective overlap portions vertically doubling each other, each overlap portion being formed with a long hole to form a through hole together with the other overlap portion and a projection to be inserted into the long hole in the other overlap portion so as to form a periphery of the through hole, said hanging rod being formed at its upper portion with a head of which the diameter is larger than the minimum diameter of said through hole.

Brief Description of Drawings:

Fig. 1 is a longitudinal section of the first embodiment according to the invention; Fig. 2 is a side view of the same; Fig. 3 is a perspective of the first body section according to the invention; Fig. 4 shows the same, (a) a front view, (b) a longitudinal section, (c) a plan view; Fig. 5 is a perspective of the second body section according to the invention; Fig. 6 shows the same, (a) a front view, (b) a longitudinal section, (c) a plan view, (d) a bottom view, Fig. 7 is a view for illustrating how to be used; Fig. 8 is a perspective of another first body section according to the invention; Fig. 9 is a perspective of another second body section according to the invention; and Fig. 10 is a section for illustrating how to be set up.

1, 31: runner body; 2: hanging rod; 4, 32: first body section; 5, 34: second body section; 6: roller; 7: dovetail tenon; 10, 15: overlap portion; 11, 16: long hole; 12, 17: peripheral portion; 13: dovetail; 18: through hole; 20: arm; 22: head; 33, 35: slider; A: curtain runner; B: curtain

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11)実用新案登録番号

第2527010号

(45)発行日 平成9年(1997)2月26日

(24)登録日 平成8年(1996)11月18日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 H 15/02			A 4 7 H 15/02	
E 0 6 B 9/36			E 0 6 B 9/36	D

請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号	実願平2-92432	(73)実用新案権者 999999999
(22)出願日	平成2年(1990)9月4日	株式会社ヨコタ
(65)公開番号	実開平4-51285	東京都台東区上野5丁目7番2号
(43)公開日	平成4年(1992)4月30日	(72)考案者 橋本 忠勝
		東京都台東区上野5丁目7番2号 株式
		会社ヨコタ内
		(74)代理人 弁理士 小田 治親
		審査官 米津 潔
		(56)参考文献 実開 昭58-185988 (J P, U)
		実開 昭59-50386 (J P, U)

(54)【考案の名称】 カーテンランナ

1

(57)【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】カーテンレールに案内されて移動可能なランナ本体に、カーテンを吊下支持するためのツリ棒を着脱自在に装着したカーテンランナにおいて、前記ランナ本体は、互いの上部が固定され且つ対向する下部に可撓性を持たせた第1の本体片と第2の本体片とを有し、両本体片には上下方向に重なり合う重合部をそれぞれ設け、各重合部には内径を変更可な貫通孔を協同して形成する長孔及び前記貫通孔の周囲の一部を縁取るように互いに相手側の長孔内に挿入される縁突部をそれぞれ設け、前記ツリ棒は、上部に前記貫通孔の最小径より大径の頭部を有することを特徴とするカーテンランナ。

【考案の詳細な説明】

【産業上の利用分野】

本考案は、病院や幼稚園等においてカーテンを頻繁に

2

取外して洗濯するのに好適なカーテン吊下げ用のカーテンランナに関する。

【従来の技術】

従来の、この種のカーテンランナとしては、例えば、実公平1-30144号公報に記載されているようなものがある。

このものは、直立棒状本体の上辺に車を取付け、下辺に垂直孔をあけてこれに上下端にそれぞれつば及び切りを設け頂部の内径を縮小させたブッシュ筒を嵌合し、該ブッシュ筒にその頂部内径より大径の膨出部を有し下方にカーテン取付部を設けたツリ棒を挿通させて成ることを特徴としている。

かかるカーテンランナの組付は、まず、ブッシュ筒を本体の枠内に側方より差し込み、次に、下方へ押してブッシュ筒を垂直孔に嵌め込むことにより行うことができ

る。この場合、ブッシュ筒の上下両端にはつばが設けられているが、当該部分には同じく切り割りが設けられているため、それら切り割りによりつば部分を縮径させて垂直孔への挿入を可能としている。

一方、つり棒をブッシュ筒から取外す場合には、ブッシュ筒を上方に押し上げ、その状態でつり棒を下方へ引っ張ることにより行うことができる。この場合、ブッシュ筒を上方に押し上げると上側つば部の外側への撓み変形が可能となり、その状態でつり棒を下方へ引っ張ることにより、膨出部が小径部を外側に撓み変形させて当該小径部との係合が外れ、これによりつり棒をブッシュ筒から取外すことができる。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしながら、かかる従来のカーテンランナにあっては、つり棒の取外し作業はブッシュ筒を上方へ移動させて行わなければならないため、その取外し作業は未熟練者には面倒な作業となり、カーテンの洗濯等を簡単に行うことができないという課題があった。

即ち、ブッシュ筒の押し上げは下側つば部を掴まんで行なうことになるが、そのつば部自体が小さいばかりでなく、上方に押し上げると直立枠状本体の下辺に当接して押上状態を維持することが難しくなるため、ブッシュ筒を押し上げた状態でつり棒を下方へ引っ張ることが困難であった。

本考案は、かかる従来の課題に鑑みてなされたものであり、従来のブッシュ筒のような移動する部材をなくし、ランナ本体を掴まむだけでつり棒の取外しができる構造とすることにより、上記課題を解決することを目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、本考案におけるカーテンランナは、カーテンレールに案内されて移動可能なランナ本体に、カーテンを吊下支持するためのつり棒を着脱自在に装着したカーテンランナにおいて、前記ランナ本体は、互いの上部が固定され且つ対向する下部に可撓性を持たせた第1の本体片と第2の本体片とを有し、両本体片には上下方向に重なり合う重合部をそれぞれ設け、各重合部には内径を変更可能な貫通孔を協同して形成する長孔及び前記貫通孔の周囲の一部を縁取るように互いに相手側の長孔内に挿入される縁突部をそれぞれ設け、前記つり棒は、上部に前記貫通孔の最小径より大径の頭部を有することを特徴としている。

〔作用〕

ランナ本体につり棒を組込む場合は、第1の本体片の重合部に設けた長孔と第2の本体片の重合部に設けた長孔とで形成された貫通孔につり棒の頭部を差し込むことにより簡単に行うことができる。この場合、第1の本体片及び第2の本体片は互いの上部が固定されていてそれぞれの下部には可撓性が付与されているため、つり棒の頭部を貫通孔に押圧することにより当該貫通孔が押し広

げられ、これにより貫通孔の内径が頭部の外径よりも広くなる。従って、貫通孔に頭部を押圧するだけで、つり棒をランナ本体に簡単に取付けることができる。

また、ランナ本体からつり棒を取外す場合は、第1の本体片と第2の本体片の各下部を掴まみ、両本体片を近づける方向に撓ませて貫通孔の径を頭部の外径よりも広くし、その状態で頭部を貫通孔から引き出すことにより、ランナ本体からつり棒を簡単に取外すことができる。

〔実施例〕

次に、本考案の実施例について図面を参照して説明する。

第1図乃至第6図は本考案の一実施例を示すもので、カーテンレールの内部を転動するローラを具えた形式のランナ本体に適用した図である。

まず、構成を説明すると、第1,2図に示す、1はランナ本体、2はつり棒、3はカーテンレールである。ランナ本体1は、第1の本体片4及び第2の本体片5と、2個のローラ6と、両ローラ6を回転自在に支持するための支持軸20とから構成されている。

第1の本体片4は、第3図及び第4図(a)～(c)に詳細に図示するように、側面形状がクランク状をなして、上部の内側には上下方向に延びるありみぞ7を設けている。そして、ありみぞ7の中央部分には横方向に貫通する軸受孔8を設け、また、ありみぞ7の下方には、位置決め用のありストップバ9を設けている。さらに、第1の本体片4における下部の内側には横方向に延びる重合部10を設けていると共に、その重合部10には横方向に延びる長孔11を設け、その重合部10の上面であって長孔11の先端部には、三日月形をなす縁突部12を設けている。

第2の本体片5は、第5図及び第6図(a)～(d)に詳細に図示するように、縦断面形状がクランク状をなして、上部の内側には上下方向に延びるあり13を設け、そのあり13の中央部分には横方向に貫通する軸受孔14を設けている。かかるあり13は第1の本体片4のあり7と嵌合することができ、その嵌合により第1の本体片4と第2の本体片5の上部が固定される。

さらに、第2の本体片5における下部の内側には、横方向に延びる重合部15を設けている。重合部15は、縦断面形状が下方に開口したコ字状をなしており、その凹部内には第1の本体片4の重合部10が摺動可能に嵌り合う。かかる重合部15には横方向に延びる長孔16を設け、その重合部15の下面であって長孔16の先端部には、円弧状をなす縁突部17を設けている。

而して、第1の本体片4と第2の本体片5とを組み合わせた場合、両重合部10,15の先端部は上下に重なり合っていると共に、それぞれに設けた長孔11,16の先端も重なり合っており、両長孔11,16が協同して内径を変更可能な貫通孔18を形状している。

5

かかる第1の本体片4及び第2の本体片5の材質としては、対向するそれぞれの下部に可撓性を有するため、例えばアセタール樹脂のような可撓性を有する材質が好適ではあるが、その他の合成樹脂は勿論のこと、下部に可撓性を有することができる形状であれば金属材料等も用いることができる。なお、19は、本体片4,5を摘まむのに便利のように当該本体片4,5の外面に設けた凹陥部である。

また、第1の本体片4と第2の本体片5とを組み合わせた状態において、2つの軸受孔8,14は同軸上に設定されており、両軸受孔8,14を支持軸20が貫通している。そして、支持軸20の両側の突出端にはローラ6を取付けており、これによりランナ本体1の上部にローラ6を回転自在に軸支している。

ツリ棒2は、第1,2図に示すように、ほぼU字形をなしており、その一方の支持片21の上端には頭部22を設けている。頭部22は、上端を丸くした円錐形をなして、その基部の径を軸部の径よりも太くすることにより、頭部22と軸部との間に段差を設定している。かかる頭部22の径は、前記長孔11,16の幅よりも細く、且つ、両長孔11,16により形成された前記貫通孔18の自然状態における最小径よりも大きくなるように設定している。

また、ツリ棒2の他方の掛止片23は、上端の径を細くすることによって内側に段部24を設定している。かかる段部24には、支持片21の軸部の中途に設けた抜止片25を臨ませており、この抜止片25と段部24とでカーテンBの抜けを抑制している。

次に、作用について説明する。

上記構成を有するカーテンランナAのうちランナ本体1は、例えば、次のようにして組み立てることができる。

まず、第1の本体片4の重合部10側と第2の本体片5の重合部15側とを向かい合わせ、第1の本体片4のありみぞ7に第2の本体片5のあり13を上方から嵌め合わせ、あり13がありストッパ9に当接するまで差し込む。これにより、第1の本体片4の重合部10の上に第2の本体片5の重合部15が重ね合わされ、各重合部10,15に設けた長孔11,16の重なりにより貫通孔18が形成される。

次に、上述したようにありつぎにより固定された第1及び第2の本体片4,5の上部の軸受孔8,14に、予め1個のローラ6を回転自在に支持した支持軸20を挿通し、その支持軸20の先端に他の1個のローラ6を回転自在に支持する。しかる後、カシメ等の抜け止め手段で抜けを防止することにより、ランナ本体1の組立が完了する。

かかるランナ本体1は、必要な数をカーテンレール3の溝内に挿入して使用する。

このようにカーテンレール3の溝内に組み込まれたランナ本体1にツリ棒2を組込む場合は、第1の本体片4の重合部10に設けた長孔11と第2の本体片5の重合部15に設けた長孔16とで形成された貫通孔18に、ツリ棒2の

6

頭部22を下方から差し込むことにより簡単に行うことができる。

この場合、第1の本体片4及び第2の本体片5は、それぞれの下部に可撓性を有するために合成樹脂等の可撓性部材によって形成されているため、ツリ棒2の頭部22を貫通孔18に押圧することにより当該貫通孔18が押し広げられ、その内径が頭部22の外径よりも広くなる。従って、貫通孔18に頭部22を押し込むだけで、ツリ棒2をランナ本体1に簡単に取付けることができる。

この際、貫通孔18は上下に重ね合わされた重合部10,15の長孔11,16の組み合わせにより形成されているため、そのままでは両重合部10,15の段差により頭部22は斜めにガイドされることになるが、本実施例では、上方に位置する重合部15の下面に、下方に位置する重合部10の長孔11内に入り込む縁突部17を設け、この縁突部17で貫通孔18の下縁の一部を縁取るようにして段差をなくしているため、頭部22を垂直にガイドすることができる。そのため、頭部22から両重合部10,15に加えられる押圧力を均等に作用させることができ、従って、小さな押圧力で第1及び第2の本体片4,5を弾性変形させてツリ棒2を簡単に挿着することができる。

これと同様に、本実施例では、下方に位置する重合部10の上面に、上方に位置する重合部15の長孔16内に入り込む縁突部12を設け、この縁突部12と重合部15とで段差をなくし、頭部22の下面全周を支持するようにしているため、ツリ棒2を垂直に支持できると共に、広い面積によって確実に支持することができる。

一方、ランナ本体1からツリ棒2を取外す場合は、第1の本体片4と第2の本体片5の各下部を摘まんで両本体片4,5を近づける方向に撓ませ、貫通孔18の内径を頭部22の外径よりも広くする。この状態で、ツリ棒2を下方に引いて頭部22を貫通孔18から抜き出すことにより、ランナ本体1からツリ棒2を簡単に取外すことができる。

第8図乃至第10図は本考案に係るランナ本体の他の実施例を示すもので、カーテンレールの内部を摺動するための摺動面を有する摺動凸部を具えた形式のランナ本体31に適用した図である。

そのため、第8図に示すように、第1の本体片32には、ありみぞ7の反対側に突出すると共に下方に凸となる円弧状をなす摺動凸部33を設けている。また、第9図に示すように、第2の本体片34には、あり13の反対側に突出すると共に下方に凸となる円弧状をなす摺動凸部35を設けている。第10図に示す36は、ありつぎによる固定を補強するために設けたボルト・ナットからなる固定手段である。なお、他の構成は前記実施例と同様である。

而して、本実施例では、第1及び第2の本体片32,34の各摺動凸部33,35がカーテンレール3の支持面上を滑って移動する。かかる構成のランナ本体31は、重量の軽いレースカーテン等に用いる場合に好適である。

なお、上述した第1及び第2の実施例では、第1の本体片4、32と第2の本体片5、34の各上部をありつきによって固定する構造としたが、本考案はこれに限定されるものではなく、単なる平面同士を接触させるように構成してもよいことは勿論である。

【考案の効果】

以上説明してきたように、本考案は上述のとおり構成されているため、次に記載するような効果を奏する。

第1の本体片及び第2の本体片の下部に可撓性を持たせ、各本体片の重合部に設けた長孔の組み合わせにより内径の変更可能な貫通孔を形成する構造としたため、ツリ棒の頭部を貫通孔に押圧して当該貫通孔を押し広げることにより、貫通孔の内径を頭部の外径よりも広くすることができ、従って、貫通孔に頭部を押し込むだけで、ツリ棒をランナ本体に簡単に取付けることができる。特に、第1の本体片の重合部には第2の本体片の長孔内に入り込む縁突部を設け、第2の本体片の重合部には第1の本体片の長孔内に入り込む縁突部を設けて段差をなくすようにしたため、頭部を垂直に安定させて挿入・脱離させることができ、ツリ棒の取付け・取外しを簡単且つ迅速に行うことができる。

また、第1の本体片と第2の本体片の各下部を揃え、両本体片を近づける方向に撓ませることにより、貫通孔の内径を頭部の外径よりも広くすることができ、この状態でツリ棒を下方に引いて頭部を貫通孔から抜き出すことにより、ランナ本体からツリ棒を簡単に取外すこと*

ができる。従って、カーテンの取外しが簡単に行えるため、カーテンの洗濯を頻繁に行うことができ、病院や幼稚園等において常にカーテンを清潔に保持することができる。

【図面の簡単な説明】

第1図は本考案の一実施例を示す縦断面図、第2図は同じく側面図、第3図は本考案に係る第1の本体片の斜視図、第4図は同じく第1の本体片を示すもので、同図(a)は正面図、同図(b)は縦断面図、同図(c)は平面図、第5図は本考案に係る第2の本体片の斜視図、第6図は同じく第2の本体片を示すもので、同図(a)は正面図、同図(b)は縦断面図、同図(c)は平面図、同図(d)は底面図、第7図は同じく使用状態を示す説明図、第8図は本考案に係る第1の本体片の他の実施例を示す斜視図、第9図は同じく第2の本体片の他の実施例を示す斜視図、第10図は同じく組立状態を示す一部を断面した説明図である。

1,31:ランナ本体、2:ツリ棒

4,32:第1の本体片、5,34:第2の本体片

6:ローラ、7:ありみぞ

10,15:重合部、11,16:長孔

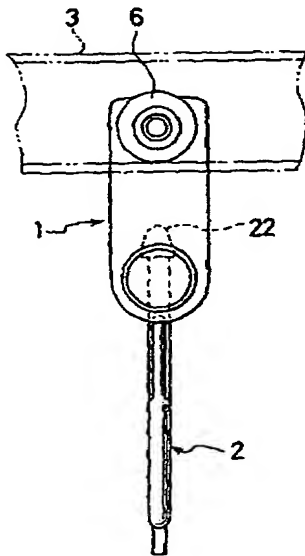
12,17:縁突部、13:あり

18:貫通孔、20:支持軸

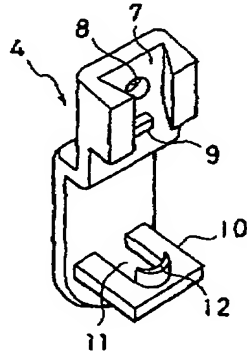
22:頭部、33,35:摺動凸部

A:カーテンランナ、B:カーテン

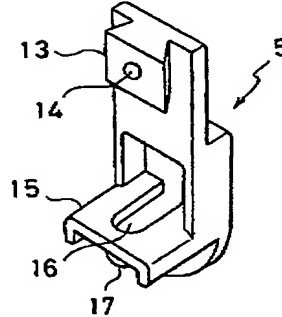
【第2図】



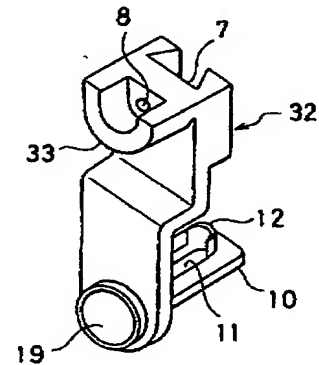
【第3図】



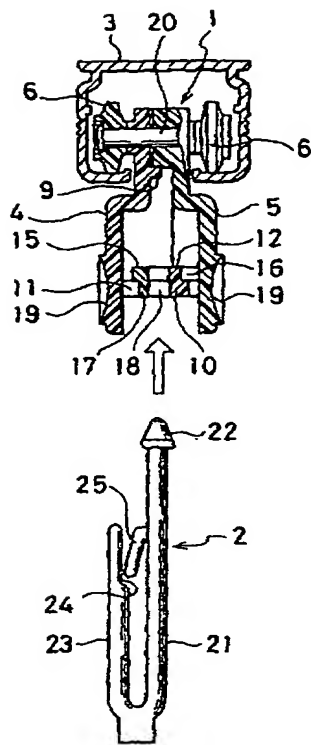
【第5図】



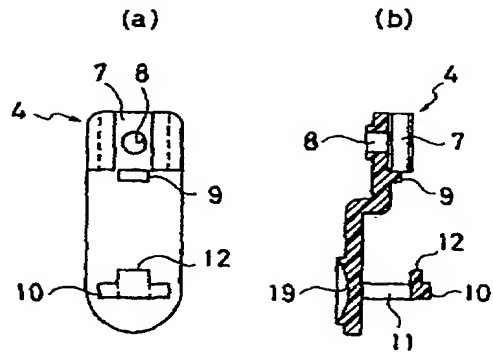
【第8図】



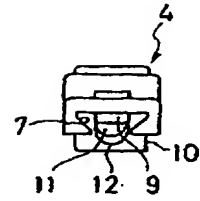
【第1図】



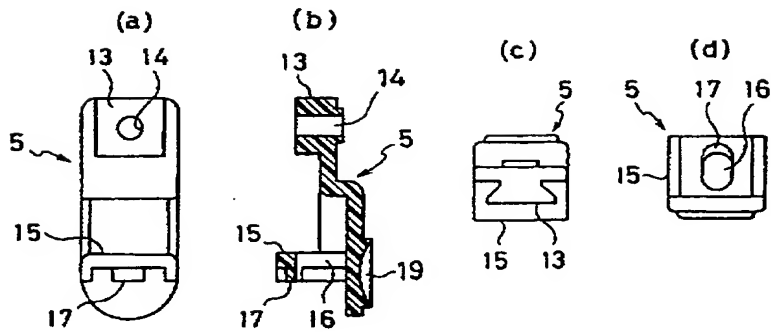
【第4図】



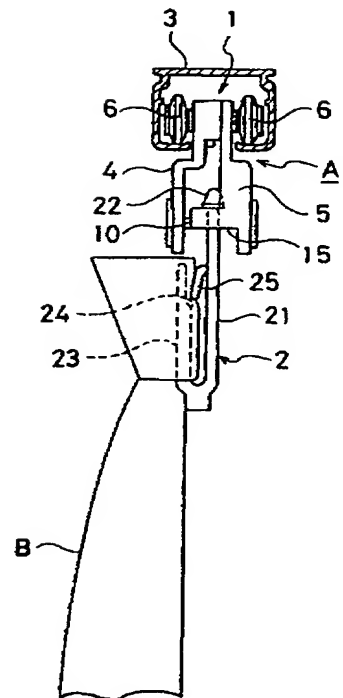
(c)



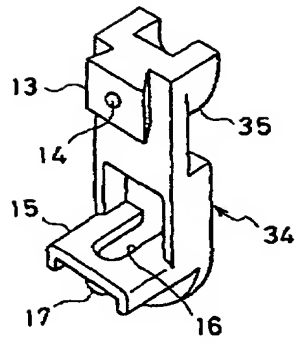
【第6図】



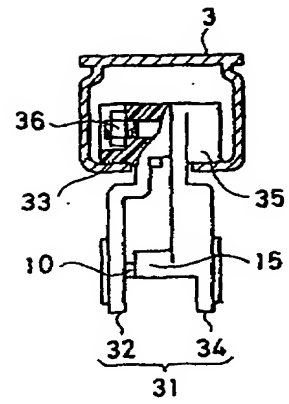
【第7図】



【第9図】



【第10図】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.